

新総会期活動方針

《宣教委員会》

委員長 朱文洪



●組織：朱文洪(長)、趙重來(書)、金承弼、朴珍烈、李聖雨、林方子、金幸子

- 活動方針
- ①平和統一宣教活動
- ②宣教政策協議
- ③未自立教会の支援
- ④宣教100周年記念として宣教師派遣

《教育委員会》

委員長 楊尚眞



●組織：楊尚眞(長)、李在隆、金性済、宋正福、李惠蘭、李炫知(準)、吳壽惠(主事)

- 活動方針
- ①全国教役者・長老研修会の実施
- ②全国高校生夏期学校実施

《社会委員会》

委員長 鄭相熙



●組織：鄭相熙(長)、趙尚

浩、崔春子、鄭在植、金錦順、趙舜元、金玉京(準)

- 活動方針
- ①戦後60周年、苦難の歴史を訪ねて検証する。
- ②憲法9条について学ぶ。
- ③人権問題について取り組む。
- ④性差別問題について取り組む。
- ⑤外キ協・部キ連との協力

《憲法委員会》

委員長 金聖孝



●組織：金聖孝(長)、鄭相熙、裴重度、李光世、鄭然元、牟大盛、中江洋一

- 活動方針
- ①総会憲法・総会規則・地方会規則・各委員会規則細則・勸懲条例等の合本を出版するために、早急に整理する。
- ②宗教法人法との整合性を引き続き検討する。
- ③長老制・定年制・任期制に関して引き続き検討する。

《神学考試委員会》

委員長 洪性完



●組織：洪性完(長)、權寧國(書)、金健、康興富、

金武士、趙永哲、朴米雄

- 活動方針
- ①新しく変わった考試部規則のもと、2006年3月に牧師・伝道師・宣教師考試実施
- ②信仰告白前文の各教会・総会・地方会文書行事の際の実用化のための活動
- ③新しい礼式書編纂のための継続的な研究編纂作業(韓国語・日本語)
- ④異端に対する神学的な対策
- ⑤総会神学生・宣教師研修会への協力

《信徒委員会》

委員長 徐貞順



●組織：徐貞順(長)、長老会・金漢範・梁昌熙、女性会・金信榮・金貞姫、青年会・岩城一雄(準)、吳征賢(準)

- 目的
- ①信徒運動の活性化を通して、KCCJの福音宣教に寄与する。
- ②世における時代的宣教師命に呼応する委員会活動を模索する。
- ③長老会、女性会、青年会、各機関の相互理解と協力体制を構築する。

- 活動方針
- ①「青年主日」「オモニ主日」を見直し、総会における特別主日として再確立する。それによって各組織の活動に対する理解と協

力を求める。

②青年会組織における、中央と地方のつながりを発展させるために、地方会青年部との連携と協力を求める。

③女性会の提案する男女共同参画の教会形成理念が、全体教会へ認識され定着するよう努力する(女性長老立促進、女性教職者の活用など)。

④未組織教会を組織教会へ転換させ、民主的な教会形成のためのアクションプランを、長老会とともに検討し実践する。

⑤100周年に向けた理念と、具体的な提案を発信してゆく(二重言語、多様な教会員との共生、在日教会の固有の宣教師命、長老教会の有り様など)。

- ⑥委員会活動におけるインターネットの活用を進める。
- ⑦資料閲覧及び提供
- ⑧「宣教100年史」編纂準備
- ⑨その他

《財政委員会》

委員長 朴慶鎬



●組織：朴慶鎬(長)、金明植、金照男、李光世、殷康世、姜遠基、宋聖宰

- 活動方針
- ①必要を充たす創造的財政運営
- ②年金の一部を加入者と教会の負担から全教会の負担による、全引退牧師への年金給付を目指す謝恩年金制度への改革。

●活動方針

《歴史編纂委員会》

委員長 李清一

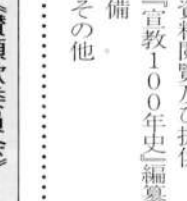


●組織：李清一(長)、金勇聖書・金、李相勲、吳大錫、河礼子

- 活動方針
- ①KCCJ指導者教職・信徒の「聞き書き」の継続
- ②KCCJ歴史講座
- ③「KCCJ史」研究会実施
- ④「福音新聞」への「歴史コラム」掲載
- ⑤総会手帳歴史年表(2006年度・2007年度)
- ⑥KCCJ歴史資料収集・整理
- ⑦資料閲覧及び提供
- ⑧「宣教100年史」編纂準備
- ⑨その他

《讃頌歌委員会》

委員長 金永柱



●組織：金永柱(長)、李教錫、徐源亨、全聖三、金道榮

- 活動方針
- ①子どもと青年のためのゴスペル讃美集制作の継続(定期総会)に30、40曲を追加予定
- ②子どもと青年のためのゴスペル讃美集のマルチメディア化(パワーポイント用)

《教案委員会》

委員長 裴漢淑



●組織：裴漢淑(長)、韓聖炫、金東深、黃貞順、曹泳石

- 活動方針
- ①今までの教案の分析
- ②各教会の教案に対する要求事項の把握
- ③在日大韓基督教教会の総会神学を受容
- ④教育的方法論による教案作成

《宣教周年記念事業実行委員会》

委員長 崔正剛



●組織：崔正剛(長)、鄭然

- 活動方針
- ①子どもと青年のためのゴスペル讃美集制作の継続(定期総会)に30、40曲を追加予定
- ②子どもと青年のためのゴスペル讃美集のマルチメディア化(パワーポイント用)

関西で合同夏期学校

主日学校生が「主の祈り」学ぶ

8月2、3日、関西地方

元書、李清一、吳大植、崔金順、(李相勲) 活動方針

その後、作業室に入り、係員の指導の下、陶芸作りに励み、各自がそれぞれの作品を楽しく作った。夕食を野外でバーベキューを楽しんだ後、親睦会をもち、金アリ姉妹が愉快なゲームを導いた。

二日目は、全聖三牧師のメッセージによる朝の礼拝で始まった後、2回目の分級の時間をもった。そして、フィールド・アスレチックと発表会の後、李相勲牧師のメッセージによる閉会礼拝をもって合同夏期学校を終えた。

一泊二日の短い夏期学校であったが、諸教会の子どもたちや教師たちが互いに良き交わりの時間をもつことができた夏期学校であった。(報告・楊尚眞)

関東地方会が信徒修練会開催

主題「福音に相応しい生活」のもと4回の講演

8月29、31日、長野県志賀高原の発信国際ホテルにおいて、関東地方会2005年度信徒修練会が開催され、韓国昌源梁谷教会の池龍守牧師を招いて、「福音に相応しい生活」との主題のもと、4回にわたる講演が行われた。信徒修練会には、13教会からの96名の信徒の参加があると共に、2日目からは長野教会の張元世牧師と信徒5名の参加があり、良き交わりと恵みの時間を分かち合った。

修練会は、関東地方会長の李漢然牧師による「時々の観念」(創世記29:20)と題するメッセージによる開会礼拝で始まった後、池龍守牧師による講演があった。全4回の講演は、第1講「喜びの泉」(ヨハネ5:24、16:23、24)、第2講「断れない祈り」(使徒9:36、43、第3講「将軍と少女」(列王記下5:1、6)、第4講「貴重なクリスマス」(レビ記11:1、12)との小題をもって行われた。

参加した信徒たちにとって今回の修練会は、快適な環境の中で、心身共にリラックスしながら講演を聴くことができ、恵み溢れる時間となった。また、信徒修練会が開かれていた間、子どもたちのためのプログラムも用意され、子どもたちにも有益な時間となった。(報告・金鍾権)



韓国食品・書籍・CD・ビデオ

(株)韓国広場

新宿店：東京都新宿区大久保1-17-7
TEL (03) 3232-5400
FAX (03) 3200-2949

代表取締役 金根熙

医療法人 おりお心クリニック

院長 金長壽 (福岡中央教会 長老)

診療科目：神経科 精神科 心療内科
精神保健相談 酒害相談

診療所：〒807-0825 北九州市八幡西区折尾4-2-8
TEL (093) 603-3280
FAX (093) 603-7985
自宅：〒813-0003 福岡市東区香住ヶ丘1-14-8
TEL・FAX (092) 672-9410

株式会社 ニューキング 愛 三

取締役社長 李鍾善 (名古屋教会 長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)
三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

本 社 東京都墨田区江東橋4-6-4 TEL (03) 3633-7477(代)
 濟州C・C 韓国濟州市寧坪洞2238-2 TEL (064) 702-0451(代)
 ソウル事務所 韓国ソウル特別市鍾路区内需洞167 TEL (02) 739-3327(代)

西南女性会が修養会を開催

講師に申賢均牧師を招き、77名が集う

9月19、20日、西南地方教会女性連合会宣教師部(姜京子部長)主催の修養会が、「ゆふいん七色の風」において、77名の参加のもと行われた。

講師には、1980年代に民族福音化運動の先駆者として活躍し、現在も総裁として活躍されているソウル聖民教会の申賢均元老牧師を招き、第1回「聖霊の働き」、第2回「聖霊に満たされる秘訣」、第3回「教会を愛そう」と3回にわたる講演を受け、主の証人として、オブザーバー(見物人)ではなく、ウォーカー(働き人)になろうとの力強いメッセージをいただいた。

今年度の女性連合会は、主題「生きて働く女性会」、副題「聖書と祈りに立ち返ろう」を掲げて活動している。



2日間の修養会が、9月27、28日、シバール須磨にて、藤井圭子先生(日本キリスト伝道会巡回伝道者・小児科医)を講師に迎えて開催された。参加者は牧師8名を含む85名であった。

西部教会女性連合会第18回修養会が、9月27、28日、シバール須磨にて、藤井圭子先生(日本キリスト伝道会巡回伝道者・小児科医)を講師に迎えて開催された。参加者は牧師8名を含む85名であった。

「悟りから確かな希望へ」テーマに学ぶ



西部教会女性連合会第18回修養会が、9月27、28日、シバール須磨にて、藤井圭子先生(日本キリスト伝道会巡回伝道者・小児科医)を講師に迎えて開催された。参加者は牧師8名を含む85名であった。

この時の借家保証人が森田殿丸牧師であった。森田殿丸牧師(1877-1952)と朝鮮教会の最初の出会い、1926年のことであった。当時、大阪東部伝道所(現・大阪教会)は、ブル学院の教室を借りて礼拝を行っていたが、ブル学院の生徒の増加のため借家を探さなければならなかった。当時、森田殿丸牧師は、在日朝鮮教会の苦難に参画した日本人キリスト者たちがいた。中でも日本基督教南大阪教会の森田殿丸牧師の関わりは際立ったものがあり、森田牧師は、在日朝鮮キリスト者の隣人となった数少ない人であった。

森田殿丸牧師は、1920年代に入ってから、日本にいた欧米の宣教師たちとの関わりはあったが、日本の教会やキリスト者との関わりを積極的に持つことはなかった。しかし、その中にあって、在日朝鮮教会の苦難に参画した日本人キリスト者たちがいた。中でも日本基督教南大阪教会の森田殿丸牧師の関わりは際立ったものがあり、森田牧師は、在日朝鮮キリスト者の隣人となった数少ない人であった。

歴史コラム④5 在日朝鮮教会に関わった日本人キリスト者たち(1)

森田殿丸牧師の働き

李 清 一 (歴史編集委員会)



写真：森田殿丸牧師

森田殿丸牧師(1877-1952)と朝鮮教会の最初の出会い、1926年のことであった。当時、大阪東部伝道所(現・大阪教会)は、ブル学院の教室を借りて礼拝を行っていたが、ブル学院の生徒の増加のため借家を探さなければならなかった。当時、森田殿丸牧師は、在日朝鮮教会の苦難に参画した日本人キリスト者たちがいた。中でも日本基督教南大阪教会の森田殿丸牧師の関わりは際立ったものがあり、森田牧師は、在日朝鮮キリスト者の隣人となった数少ない人であった。

森田殿丸牧師は、1920年代に入ってから、日本にいた欧米の宣教師たちとの関わりはあったが、日本の教会やキリスト者との関わりを積極的に持つことはなかった。しかし、その中にあって、在日朝鮮教会の苦難に参画した日本人キリスト者たちがいた。中でも日本基督教南大阪教会の森田殿丸牧師の関わりは際立ったものがあり、森田牧師は、在日朝鮮キリスト者の隣人となった数少ない人であった。

森田殿丸牧師は、1920年代に入ってから、日本にいた欧米の宣教師たちとの関わりはあったが、日本の教会やキリスト者との関わりを積極的に持つことはなかった。しかし、その中にあって、在日朝鮮教会の苦難に参画した日本人キリスト者たちがいた。中でも日本基督教南大阪教会の森田殿丸牧師の関わりは際立ったものがあり、森田牧師は、在日朝鮮キリスト者の隣人となった数少ない人であった。

中部女性会社会部が研修会

フリーピン移住者の実態について学ぶ

9月26日、中部女性会社会部が訪問研修会を開催した。この研修会では、フリーピン移住者の実態について学ぶことが目的であった。

フリーピンでは、人口の70%が健康な生活を送るための十分な所得を得られない貧困層に属し、貧困削減、経済開発などを目的として毎年、巨額のODA資金(年間約360億円)が提供されている。

在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して

2006年4月25日、創立100周年を迎えます

東京韓国YMCA

※会員及び教職者割引有

- ◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル)：フロントは日・韓・英語に対応、24時間サービス。10名様から220名様様の会議及び宿泊研修(50名様)も可能。
- ◆スペースワイホール：220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆韓国文化(チャング・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種子どもクラス
- ◆YMCAアジア語学院(日本語学校)

関西韓国YMCA

- ◆韓国民俗芸術科公演会『YMCAフェスティバル'06』
- 日時：2006年4月15日(土)午後6時半 大阪・森ノ宮ピロティホール

(税込)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592

朝食¥200 カルピック、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食(全メニューコーヒータン)

在日韓国YMCA

http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/

東京韓国YMCAアジア青少年センター

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633

関西韓国YMCAアジア青少年センター

〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782